

「企業的漁業と内水面漁業の安定的発展」の進捗状況

水産課

○令和3年度末の進捗状況

- 魚種別分布予測システム※について、沖合底びき網漁業の主要な漁獲対象種12種を実装（目標は15種）。

※魚種別分布予測システム

魚種毎の分布状況を予測し、漁業者へ迅速に情報提供することで、資源が減少している魚種の漁獲を避けたり、小型魚を避けて商品価値の高い大型魚を漁獲したりできる、効率的な操業を可能とするシステム。沖合底びき網漁業の主要な漁獲対象種で開発を進めている。

- 沖合底びき網漁業でシステムを活用して操業した結果、現在のところ、以下の効果を確認。
 - 1航海あたりの漁場探索に要する時間が約6時間（20%）短縮
 - 1航海あたりの漁獲金額が約200万（30%）増加

【1航海あたりの探索に要する時間と漁獲金額】

	2018年	2021年
1航海あたりの探索時間（時間）	29.3	23.5（-5.8）
1航海あたりの漁獲金額（千円）	8,013	10,223（+2,210）